

# 南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありません**、同じ市民同士の生の意見として参考までとしていただきたいと思います。**正式な指針は政府**が出します、そちらにしたがう事で各種補償も受けられます。どうぞその点を誤解なきようお読みください。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと [soiga01@gmail.com](mailto:soiga01@gmail.com)、  
協力・印刷・配布:長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ 配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

## 南相馬市から5月31日朝 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2011-05-31 05:20:34  
<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/7284dd5ce4d8e790b5dbafe4d9390512>

寒い日です。去年は暑い夏でしたが、よく考えたら去年も6月頃までは、寒い日が続いていた様な気がします。夏が異常に暑かったのも、記憶に無くなっているのかも。

最近、お役所周りをしています。これからの事を考える情報が欲しくて、集めているのですが、どこでも、同じ話に行きつくのは、今の困難な状況に法律が追い付いてきていない事が、役所で聞きます。

だから、こうしたくても、今は法律が無かったり、作っているようだとか、で出来ないようです。出来てくるのを待っているようです。

激震災害、地震、津波など自然災害には適用でき、それによって被災された人たちは救済をすぐに受けられるような法律ですよね。

今回、原発の放射能によって被災している人たちには、最初、激震災害でもなく、法律も無く、対応が出来辛く、困ったようです。直接住民とかかかわっている、現場の職

員の方達は大変だったようです。

今、日々、困難な状況が変わってきている中で、法律が後からしかやって来ないので、待っているような状況です。

商圏が小さくなり、取引先も減り、どこの会社、商店も売り上げ、収益を以前のように確保出来なくなっています。

銀行からの借り入れ返済も大変で多くの会社が、返済猶予をしていただいているようですが、今は、皆さんが新しい制度資金が出来るのを待っているようです。今までの制度資金ではなく、今回の状況に適用できる制度が出来るのを期待しています。本当は各金融機関が独自に考えてくれれば、対応してくれればよいのですが、いつでも、横並びのお国頼りの制度資金でしか対応できないようすな。

## 南相馬市から5月31日夜

2011-05-31 19:38:04

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/847683949dbad65bfc8d6e14d4308d05>

放射線、所々で測っています。鹿島の苗屋さんからの帰り、いつも高くなる所があります。なぜかなと考えたら、橋の上でした。川の上、水の上、だからかな？ただし、値は0, 69マイクロシーベルトぐらいですけど。心配はありません。店は0, 11から0, 14です。

ある家庭では、お父さん震災後仙台での仕事の為、離れ離れになり、一緒に暮らそうと仙台に、部屋を借りていこうとしたら、転勤で南相馬市に逆戻り、家は石神地区で若干放射線高めの為、放射線が心配でお父さん残して子供達と仙台で暮らそうか、実家は鹿島区の圏外、祖父、祖母、は一緒に暮らそうと言っているようですが、どうしたらいいのかと相談されましたが、どうしましょう。またある家庭では、今日、保原町に避難している家族の元へ、お父さん、南相馬市から、引っ越しです。なぜ？会社が閉鎖になり、失業したからです。いままで、家族とは、離れ離れで暮らしていましたが、失業したことで、一緒に暮らせることになりましたと、言っていました。

多くの家族が、苦しんでいます、悩んでいます、すべては、原発の放射能が原因です。ホントに何とかならないのかな。

孫のブログを見ていると、複雑な心境になります。楽し

そうで、幸せそうで、これが南相馬市での生活だったら、どんなにいい事か、それが敵わないのは、放射能のせいですよ。

孫の事を考えると、札幌にいた方がいいのかな。そろそろ、覚悟しなければいけないのかも、長期戦を想定しての生活を考えていかななくては。

人生いろいろありますが、今回は先が見えないから、予測できないから、厄介です。

緊急時避難準備区域が解除されても、この地域の経済状況は改善されるどころか、元には戻らないでしょう。

(シャンゴン)」を復興を祈念して「三条気功」とめいりった功法を中心にすえて すすめてきました。

なかでも「香功(シャンゴン)」は むかし(H8)から・・・私の歌詞に音曲をつけ「こどもしゃんごん」として リズム体操のように子どもの世界にも広げられないか・・・と考えていたものですが・・・

朝の練功の場に 一人飛び込んで学びつづけていた 三条市民のN女史が 奇しくも狩野のお弟子さんという縁から 鹿野氏が作曲・編曲を申し出てくれたという次第です。

27日 氏は 再び 佐渡から三条市へ・・・「はじめまして」のあいさつから 打ち合わせがはじまりました。

・・・結果 曲の根底に流れる主題は「和(大和:日本)」ということになりました。

「今晚 仕上げますよ」・・・氏の熱い想いを感じます。

翌28日は 録音とDVDにするための撮影です。演奏は 篠笛の門下生のグループです。

#####

### 篠笛(しのぶえ)・・・因縁

負けてらんにあ！ みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-05-31 19:49:22

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/a6d410780107d58f7f8be9077a21611d>



5月20日 篠笛(しのぶえ)奏者 狩野泰一氏(新潟県佐渡島在住 集団「鼓童」出身)のコンサートがあり、避難者として招待されました。

・・・篠笛の音色は まさに 心に深く深く染み入るものでした。

・・・まさに 本物です。シンプルです。自然そのものです。

篠笛が「忍ぶえ」と思えたのは 避難の身にある私だけでしょうか。

さて

3月16日からはじまった三条市での集団避難生活のなかで少しでも避難仲間の健康に役立てばと 毎朝(5:30~6:30) 気功の指導をつづけてきました。

そして 誰にでもできる入門気功の一つとして「香功



曲が流れはじめました・・・衝撃です。素晴らしいの一言・・・「和」そのものです。

つづいて DVDの撮影です。これは なんとか かん  
とか・・・

昼食をとるのも忘れ 録音と撮影がつづきました。



・・・ 完成です。

その後 集団避難所でのミニコンサートのおまけつきです。  
涙を浮かべ聴き入る避難者たち・・・心のコンサートです。



再会を約して 記念写真をパチリ。  
すばらしい出会いです。



DVDの出来上がりが楽しみです。  
狩野泰一師匠・・・感謝です。  
合掌・・・です。

「和」は 輪  
「輪」は 円(○)であり  
「円」は 縁です。

そして・・・

「輪」は 丸い心という原点に遡(さかのぼ)ってきて  
・・・ 零にまで 立ちのぼってきます。

因縁とは・・・まことに不思議なことばかりです。

#####

### 【南相馬市役所情報】

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-05/tachiiri.jsp>

写真で見る東日本大震災  
(防護服を着用して我が家に)

### 【2011年5月25日】

南相馬市では初めての「一時帰宅」が実施され 55 世帯 85 人が参加しました。

中継基地となる原町区の馬事公苑では、参加者が上下に分かれた防護服やマスクを身に付け、線量計や時計などを受け取り 5 台のバスに分乗して自宅に戻りました。





▲最終確認する職員



▲配られる防護服



▲背中に番号を記入



▲準備完了



▲受付開始



▲動物保護のコーナー



▲線量計を受け取りバスに乗車



▲安全管理者の説明



▲当日の体調などを問診票に記入



▲一時立ち入りする皆さんにあいさつ



▲パトカーの先導で出発



▲家の中を片付ける夫婦



▲着用する防護服の説明



▲大勢の報道陣



▲貴重品などを持ち出しバスに乗車



▲中継基地の馬事公苑に到着



▲防護服を着始める皆さん



▲手袋は三重に



▲足のビニール袋を外し中へ



▲スクリーニングを受ける参加者



▲キャップとマスクを着用



▲上下に分かれた新型の防護服



▲防護服を脱いで終了



▲報道陣に囲まれる場面も

#####